



由利地域振興局農林部農業振興普及課 TEL:22-8354
 NOSAI由利 由利農業共済組合 TEL:24-3301
 JA秋田しんせい 営農生活部 米穀課 TEL:27-1601

～刈取について～

稲は登熟期に入っています。刈取の目安は、籾の黄化が90%の頃です。また籾だけでなく枝梗の部分の黄化程度も確認するようにしましょう。枝梗は、一番高く見える主軸の穂の枝梗から数え5番目の穂の枝梗までが黄化した頃が刈取適期となります。また積算気温による刈取適期の目安も参考としながら総合的に判断して刈取作業を行って下さい。

◆品種別の積算気温目安◆ (1日の平均気温の積算)

あきたこまち	ひとめぼれ	つぶぞろい	萌えみのり
950℃～1050℃	1050℃～1150℃	1050℃～1150℃	1050℃～1150℃

サンプル米の提出について

食味事前サンプルは、検査を行う**2日前**に必ず提出して下さい。実証米は食味結果に基づいて検査を行いますので、食味事前サンプルが提出されない場合は検査が滞ってしまいます。またサンプルは検査を受ける都度提出するようお願い致します。また、事前サンプルでプレミアム実証米の対象となる方はサンプル袋の色が通常黄緑色のものではなく、オレンジ色のものでの提出となりますので注意して下さい。

●プレミアム実証米基準

①対象品種「あきたこまち」「ひとめぼれ」「つぶぞろい」

- ②基準
- ★土づくりを10年以上行っている方
 - ★「あきたecorais」であること
 - ★3品種とも「網目1.9mm以上」であること
 - ※つぶぞろいに関しては2.1mm以上が上位

以上の基準を満たし、さらにタンパク質の低い上位10名を審査対象とします。

右が通常の事前サンプル袋
 左がプレミアム実証米事前サンプル袋



出荷時の注意点

出荷時の量目は紙袋で皆掛け重量30.5kg、フレコンで皆掛け重量1,033kgとなっております。量目が不足している場合は、検査を行えませんので、秤の点検を行い適正な量目での出荷をお願い致します。

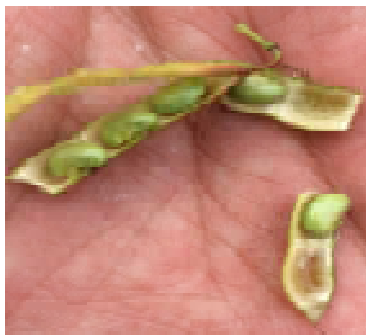
また、水分も適正な水分での出荷をお願い致します。特に備蓄米に関しては水分15%以下で無ければ買入を行えませんので注意して下さい。年産、銘柄、品種名、氏名等の記入漏れも散見されますので記入漏れのないよう確認のうえ、出荷していただきますようお願い致します。

コンタミに注意しましょう！！

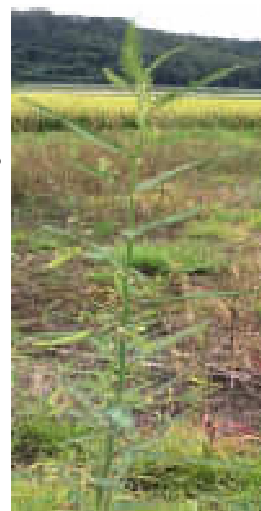
まもなく秋作業が始まってきますが、作業前には、農作業場、コンバイン、乾燥機、籾摺機の清掃と点検を入念にお願い致します。また前年からのものと思われる虫の糞や死骸、その他の混入物には細心の注意を払っていただくようお願い致します。

倒伏した圃場の刈取り・調製は丁寧に行ってください。小石等の混入にも注意しましょう。
また、圃場内にクサネム(雑草)がある場合は手取り除去してから稲刈り作業を行いましょう。

クサネムのタネは右記の写真で未成熟のものですが成熟すると、黒いタネとなります。



クサネムタネ (未成熟)



クサネム全体図

次の年に持ち越さないようにタネが成熟し、落ちるまえに抜き取り作業を行いましょう。

～農作業記録簿類の提出について～

農作業記録簿、GAPシート、コンタミチェック表は、生産した米穀の品質や安全性を証明する上で非常に重要な書類となりますので、記入のうえ出荷時に必ず提出するようお願い致します。GAPシートは内容が変更になっている部分もありますので、確認しながらチェックをお願い致します。

情報をご活用下さい！

JA秋田しんせいでは様々な媒体を通して稲作情報の発信をしております。広報だけでなくホームページやメール等でも稲作に関する情報を配信しておりますので、ぜひ栽培の参考として頂きますようお願い致します。



こちらは稲作メールマガジン(稲作緊急メールを含む)情報を受信するために必要な登録ができるページになります。スマホ・携帯・パソコンでの登録ができますのでぜひともご利用下さい。
 メール登録していただくと……

右記のようなイメージで情報の配信され、時期にあった栽培管理の参考とすることができ、非常に便利となっております。

■ 雑
 こんにちは！
 秋田しんせい農業協同組合 稲作マガジンです。
 まもなく、穂刈(台風21号が本州へ上陸し、秋田県も通過する予報となっております。5日は秋田の谷の影響により、量ばから夕方にかけて曇りで雨の降る所があります。また、高温となる予想ですので熱中症に注意しましょう。4日(30)晴れますが、台風の影響に伴い、次第に曇りとなり、夜遅くから激しい雷雨となる見込みです。沿岸部でも大荒れとなる予想となっております。
 <台風対策について>
 台風による風雨の対策として、小風等の初穂を防ぐための補注を行います。
 また、圃場に停滞水が溜まった場合は、速やかに排水を促し、刈取作業に備えるようにお願いします。
 <刈取作業について>
 刈取の目安は穂の黄化度が90%の頃です。穂だけでの刈取の部分は減ったほうが適期となります。また、出穂期からの積算気温も参考として下さい。あきたこまちで900度から1000度、ひとめづれ、つばきぞり(1100度から1150度)となりますので総合的に判断して刈取を行ってください。
 <農作業記録簿の提出について>
 農作業記録簿、GAPシート、コンタミチェック表は、生産した米穀の品質や安全性を証明する重要な書類となりますので、記入のうえ出荷時に必ず提出するようお願い致します。GAPシートは内容が変更になっている部分もありますので、確認しながらチェックをお願い致します。

ホームページのここをクリックしていただくと、今年度分の稲作情報を閲覧することができます！！